



ゆうゆう (2018年4月号) 掲載

バラを愛でる旅へ オールドローズ、  
イングリッシュローズ……

# ゆうゆう

50代から「私」が主役!

4 2018  
APRIL

表紙の人インタビュー  
高島礼子さん

学ぶ楽しみ  
学ぶ理由

浜美枝さん  
ハイヒール・リングさん

貯金の少ない人が  
知っておきたい  
暮らしの知恵

特集

# 賢く食べて 健康になる!

- ・ロザンナさん母娘の健康レシピ
- ・素材別・栄養素を生かす調理法
- ・脳活・デトックス・骨粗しょう症のおかず



石田純子さん提案  
ストール&  
はおりのもの  
まるで別人級?!  
大人のアイメイ  
ク  
レッスン  
第一印象で  
素敵なお人と  
思われるコツ

暮らしが  
シンプルになる  
片づけ術

もしかしたら  
糖尿病かも?!

後悔しない  
トイレ・お風呂の  
リフォーム

心がこもった  
供養とお墓

## 1 死亡保障のかわりに、 葬儀保険を検討

こんながあります「葬儀保険」

### あんしん少額短期保険

保険料は一律で年とともに保険金が減り、その範囲で葬儀も依頼できる。保険料月2000円で、保険金70歳約129万円、80歳約48万円など。

### SBIいきいき少額短期保険 (SBIいきいき少額の死亡保険)

保険金は、100万~900万円で設定可。葬儀費用優待つき。保険金100万円、月の保険料660円(55~59歳)、4800円(80~84歳)など。

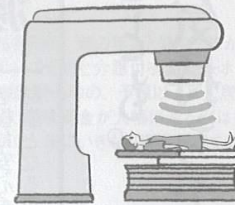
### ベル少額短期保険

85歳まで申し込み可能。保険金100万円で、月の保険料は2000円(50~69歳)。必要書類が完備されれば保険金は翌営業日の支払い。

あんしん少額短期保険とSBIいきいき少額短期保険の保険料は女性で試算。

葬儀保険を主に扱うのは、保険金額が「少額」で、保険期間が「1年か2年」に限られた少額短期保険会社。大手保険会社にはないニッチな保険を販売している。葬儀保険もその一つで、タイプは二つ。一つは、「保険金が一括タイプ」で、いつ亡くなくても当初に契約した保険金が給付されるが、保険料は年々上がる。もう一つは「保険料が一律タイプ」で、保険料は上がらないが、保険金が年々下がる。一般に年とともに葬儀規模も小さくなるので、保険料負担が心配な人は後者を選ぶ。ほとんどの保険で、79~89歳の間に加入すれば99歳まで継続ができる。少額短期保険会社は保険金の支払いが迅速なのも特徴で、申請すると翌営業日に支給される点も心強い。

## 2 先進医療保障だけにしぼる



先進医療とは、将来的に保険導入が期待される医療技術で、厚生労働大臣が承認したものをいう。がん治療に用いられる放射線治療の一つ、粒子線治療は、健康保険の対象外で自己負担が300万円を超える場合がある。損保ジャパン日本興亜ひまわり生命「リンククロス コインズ」は、保険料月500円で通算2000万円まで先進医療を保障してくれる。69歳までに加入すれば、保障は生涯継続が可能。支払いはクレジットカード払いになる。

## 3 がん保障は抗がん剤治療などに しぼるとリーズナブル

がんは、入院より通院治療が長くなりがちだが、医療保険は入院と手術の保障が中心。がん保険は通院保障をつけると保険料が高額に。そのジレンマを解決してくれるのが、チューリッヒ生命の「終身ガン治療保険プレミアム」だ。

がんの放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療を主契約にした保険で、保障を月いくらと決め加入すると、該当する治療を受けた月に回数無制限で給付金が出る。月に20万円の場合、保険料は月1560円(50歳女性\*)。



必要な保障にしぼれば、保険料負担は軽くなる。保険料も、見直しておきたい固定費の一つです。特に死亡保障は、子どもが巣立てば、基本的に不要。ただ、夫婦のうち先に亡くなった人の葬儀費用を負担することで、貯金の減るペースが加速するため、貯金の少ない家庭ではその備えが必要です。方法は二つ。一つは、割安なネット通販専用保険で500万円程度の保障を確保する方法です。20年満期の定期保険は、月の保険料が60歳男性で月6000円、9000円ほど、女性で3000円、4000円ほどです。もう一つは、ずばり葬儀に備える葬儀保険に入る方法です。持病があっても入れる保険もあり、保険料も給付金が数十万円であれば、年2万~3万円程度と負担になりません。一方、医療保障は高齢になるほどあると安心ですが、医療保険には制約が多く、支払った保険料分を取り戻せないケースも多々。保険料が負担なら、解約してその分を積み立てて備えてもいいでしょう。ただ、先進医療や抗がん剤治療のように、費用がかさむ治療には保険の備えがあると安心です。必要な保障をピンポイントで確保でき、保険料も割安な保険(上記)を検討しましょう。

貯金が少なくても……  
老後不安を減らす  
暮らしの知恵

## 保険を見直す

何となく続けている保険が、  
老後の足かせになることも。  
必要な保障を見極めましょう。

必要な保障にしぼれば、  
保険料負担は軽くなる